



ア-1-75

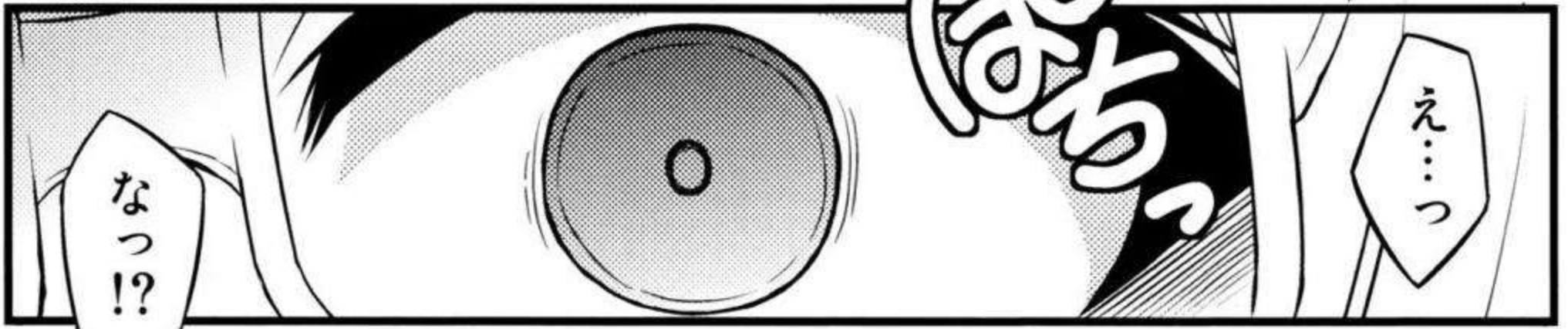
まいなすいちのっといこーる 3。E

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



んっ…あれ?
私どうしてたんだっけ…
この声!
みんな?

にゃあ



なっ!?



おっ



喜々津ちゃん!!



ちらん

それに…っ!!

キッ



ツツキー
喜々津ちゃん

鯨塚ちゃん

見習い

?



みんな何でこんなこと

アムロウ...



与次郎ちゃん

希望が丘ちゃん

『ようやく気が
ついたらみただね
財部ちゃん』

っ!!

球磨川つ…

せんぱいっ!?

『やっと
気づいてくれた』

ツツキ
喜々津ちゃんから
離れることの性犯罪者

これはどういうこと
ですか球磨川せんぱい

『えー?』

んっあ

『あ…もしかして』

『財部ちゃん
妬いてる?』

んなわけあるか
妄想癖野郎

いいから早く
やめて下さいっ

『財部ちゃんも
うるさいし止めようか
喜々津ちゃん』

やあ…もつと

コツをつかめそう
だからもつと気持ちよく
してほしいにやあ

『だつてさ
財部ちゃん』

なっ!!

小さいからさつさと

喜々津ちゃんをはなせ

いったい喜々津ちゃんに
何をしたんですか
球磨川せんぱい!!

『そっかー
財部ちゃん覚えて
ないのかー』

!?



むー財部ちゃんと話してないでこっちに集中してください

じゃないと勝手にしちやいますよ

「ん？」



『まるで絞りあげられてるみたいだ』

『さつきまで未経験だったとは思えない飲み込みの早さだね』



『っ！』

どうせすか？
球磨川せんはい



『だったらっ』

んああっ♡

これイイですっ
奥までぐりぐりきて…っあ♡



『こっちも
刺激が変わって…っ』

『もうあまり
もたないかもっ』



『…っ』
『喜々津ちゃん
もう…!』

『可愛い後輩の
お願いじゃ
仕方ないね』



我慢しないで
いいですからっ
もっもっ

もつとぐりぐり
激しくしっ



今度は腔内^{なか}でっ
腔内^{なか}に感じてみたい
にやあっ…♡



『…っ』
いくよっ!!』



よ〜も喜々津ちゃんをや
絶対たただしやおかねえ
からなこのクズ

こんなことして
バレたらただしや
済みませんからね!



『まあ落ち着けよ
財部ちゃん』

『これからこれが
財部ちゃんを可愛がって
くれるんだぜ?』

何言ってるんだコイツ
脳みそわいてんのか
冗談は止めて
くださいっ



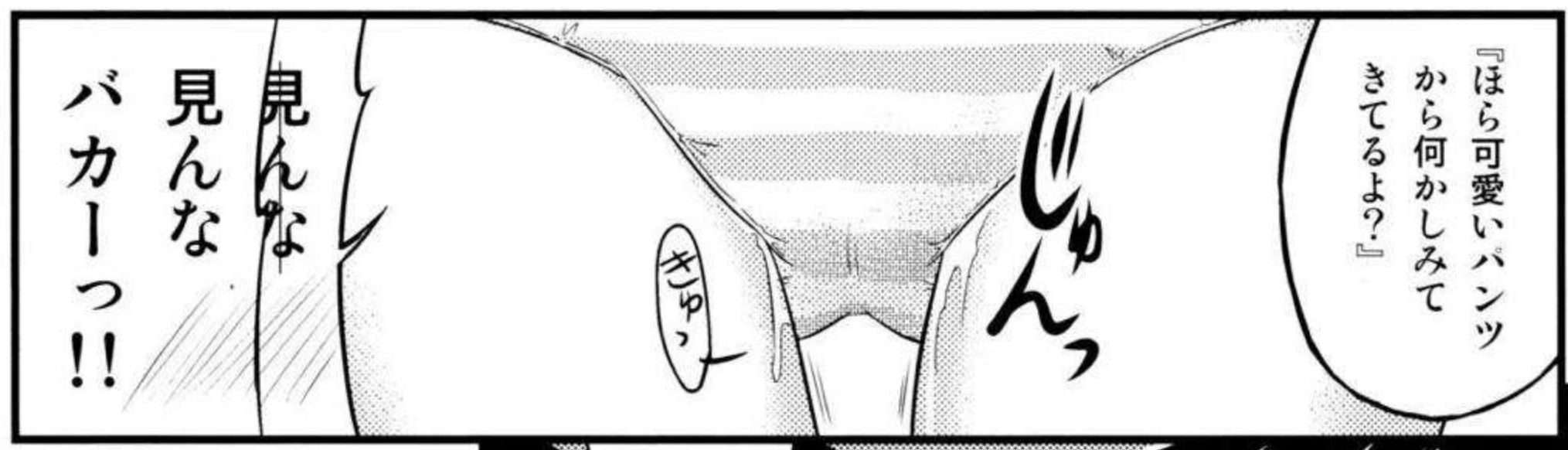
『だって財部ちゃん
喜々津ちゃんが犯されてるのを
見て興奮しちゃったでしょ?』

何をっ!?



『えー?』

チーオンな醜態な
もん見せんな申が腐る
いいから股間
のををさつさと
しまつて下さい



『ほら可愛いパンツ
から何かしみて
きてるよ?』

見んな
見んな
バカーっ!!

ギョッ

じゅん



『別に恥ずかしがる
ことは無いさ』

顔近づけるな
気持も悪い
いい加減に……!

『むしろお漏らし
だったりした方が
よほど恥ずかしいぜ?』

『それじゃあ
そろそろ……』

ぎゅっ

——つやめっ……



『ほら見てあげて
よ財部ちゃん』

『鰐塚ちゃんの
お腹すごいでしょ』

!?

『何発まで射ち込んでも
耐えられるかと思って
試してみたんだけど』

『一五〇〇ccはもう
入ってるんじゃないかなあ』

『前は使わないって
約束だもんね
鰐塚ちゃん』

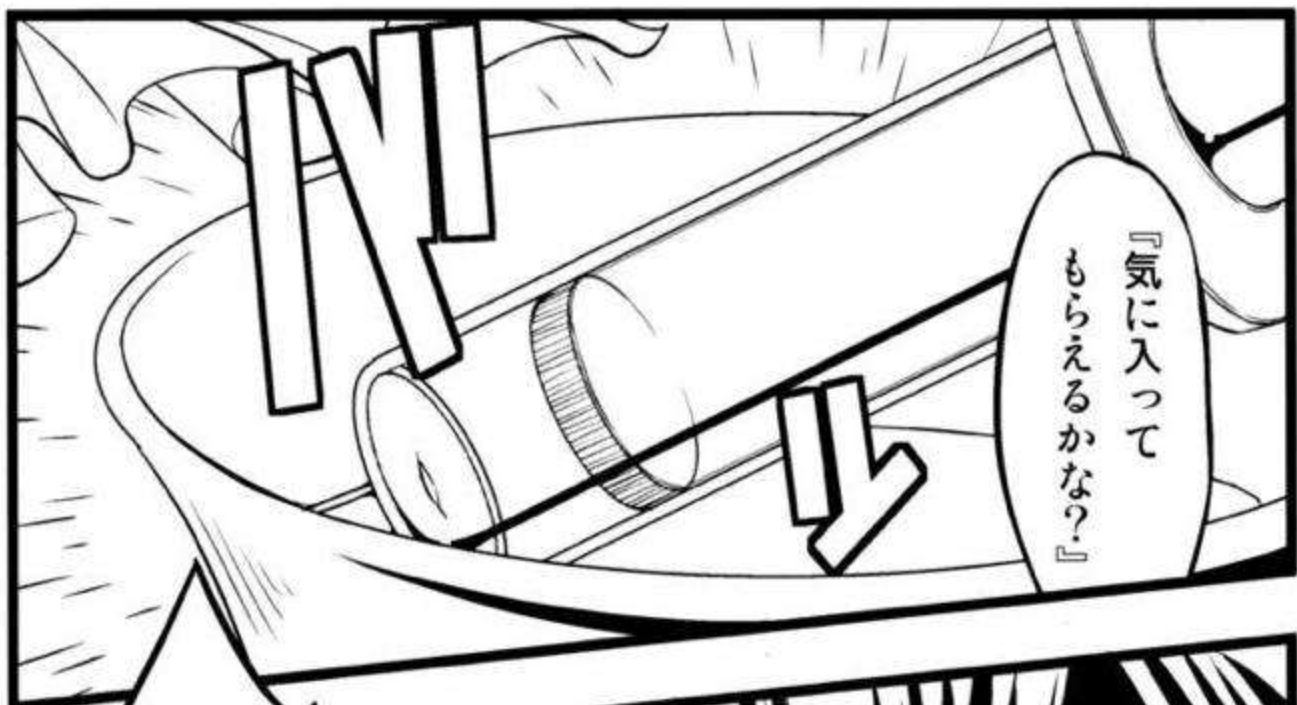
『高貴ちゃんのためかな？
いじらしいねえ』

『ほらたぶんたぶん
いってるよ』

う……るさいっ
だまれっ…!!

『ふーん…』

『まだ余裕がありそう
だね鰐塚ちゃん』



『気に入って
もらえるかな?』



『そんな鰐塚ちゃんに
プレゼントを用意しました』



く……じ!!
可憐な小物



『折角だし
与次朗ちゃんにも協力
してもらおうかな』



『じゃーん』

『与次朗ちゃんの
ウォーターポトルナー』

『この中から鰐塚ちゃんに
注入^{射ち込む}するものを
与次郎ちゃんに選んで
もらいまーす』

「この中からって…
与次郎ちゃんのウォータールポドルの中身は…」

『ってあれ？』

『与次郎ちゃん？
おーい？』

『仕方ない
なあ』

あ…れ？

『ショックで
気づいたね』

えっと…

球磨川…せんばい？

『では改めて——
この中の三本は与次郎ちゃんの
ウォーターボトル』

『そして一本は
僕の用意した身体に無害な
ローションの入ったボトル』

『じゃあ
与次郎ちゃん
選んでね』

『選んだやつが何であれ
それを罅塚ちゃんに
プレゼントするから』

何よそれっ——狂ってるっ

いや球磨川せんはいのことだし
はったりでこっちの反応を見て
遊んでるだけかも……

『おっと』

『ごめんごめん
足が引つかかっ
ちゃった』

『まあハズレが
減っただけだし
別にいいよね』



『さあ選んでよ
与次郎ちゃん』

アレは濃硫酸のボトル
アレを選んだら
鰐塚ちゃんは…っ!!



何とか…
しなま…
けど… 振動で…
考えが…



もしあれが
与次郎ちゃんのボトルだったら…
そうですね…
鰐塚ちゃんの身体が…



『与次郎ちゃん
早くー』

あ…っ ♥ ま… 真ん中っ
真ん中にしまっ… ♥



ごめん… 鰐塚ちゃん…



『真ん中…』



『これだね』



『…ふーん』



——っ
やめてくださーいっ!!



——っ
分かり…

財部タカっ!!



『だったら代わりに
これは財部ちゃんに
使っちゃおうかなあ』



いいんだ…



ごまっ

——っ



『本当なんだ
けどなあ』

ひょうっ



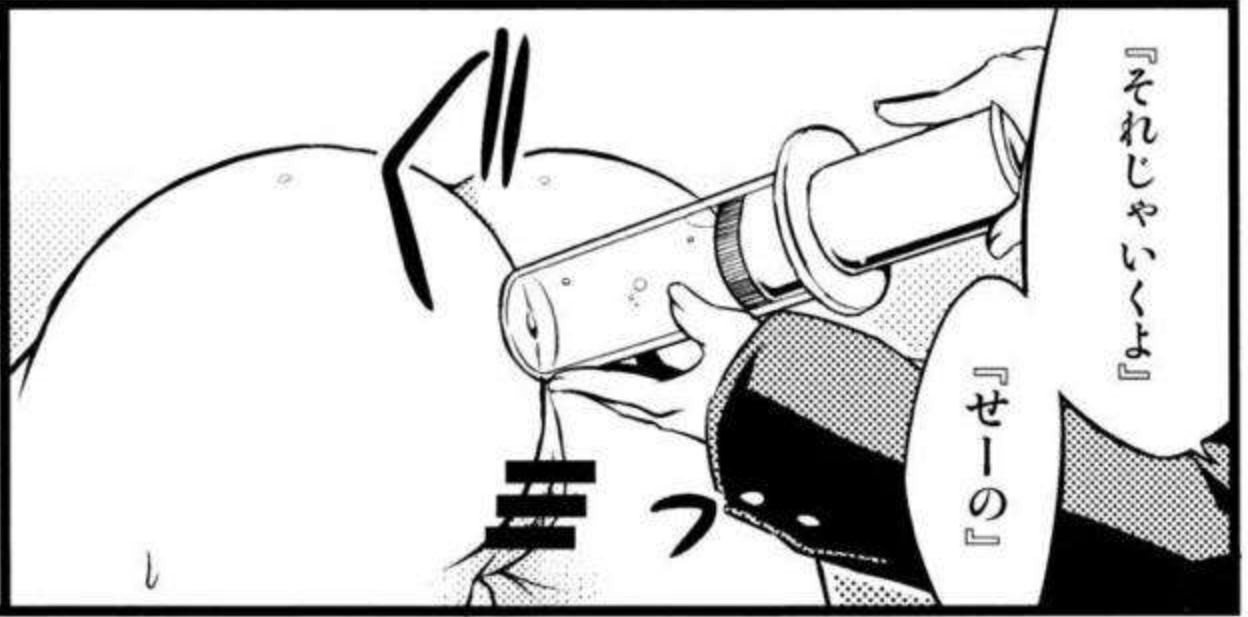
『いやあ友情って
すばらしいね
感動だなあ』

ほおっ!!



「さあ当たりかな?
ハズレかな?」

—!!



「それじゃいくよ」

「せーの」



「その様子だと
ハズレじゃな
かったのか」

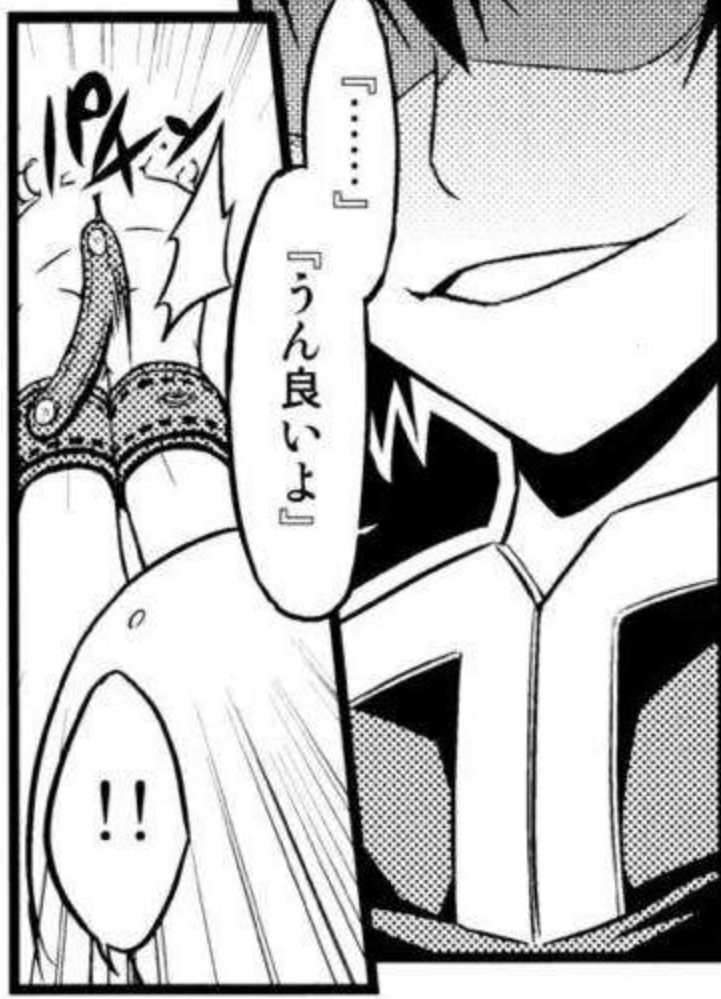
「ほらもっと
喜んでいいんだぜ
鰐塚ちゃん」



—!!
球磨川…せんはい…



「おーすごい
鰐塚ちゃん
全部入ったよ」



見るなっ!!

見るな——っ!!

見るなっ



見るな...っ

見ないで...っ



あ...あ...あ...





『さてと…残ったのは
与次郎ちゃんに返して
あげないとね』



鰐塚ちゃん!!

おとちゃん



なっ…
残って
るのって!!



えっ?
なっ…なにっ…

い…
いや…っ

おとちゃん



『ちゃんと
受け取ってね』

いやっ…めんなさー
やめてっ…やっ…

おとちゃん



与次郎ちゃんーっ!!



与次郎ちゃん



『ただのローション
なのにまるで劇薬
でもかけられた
みたいな反応だね』

『与次郎ちゃん
ってば思い込み
激しいなあ』

球磨川せんばいつ!!

いい加減に
しろよためえ!!

なっ!?

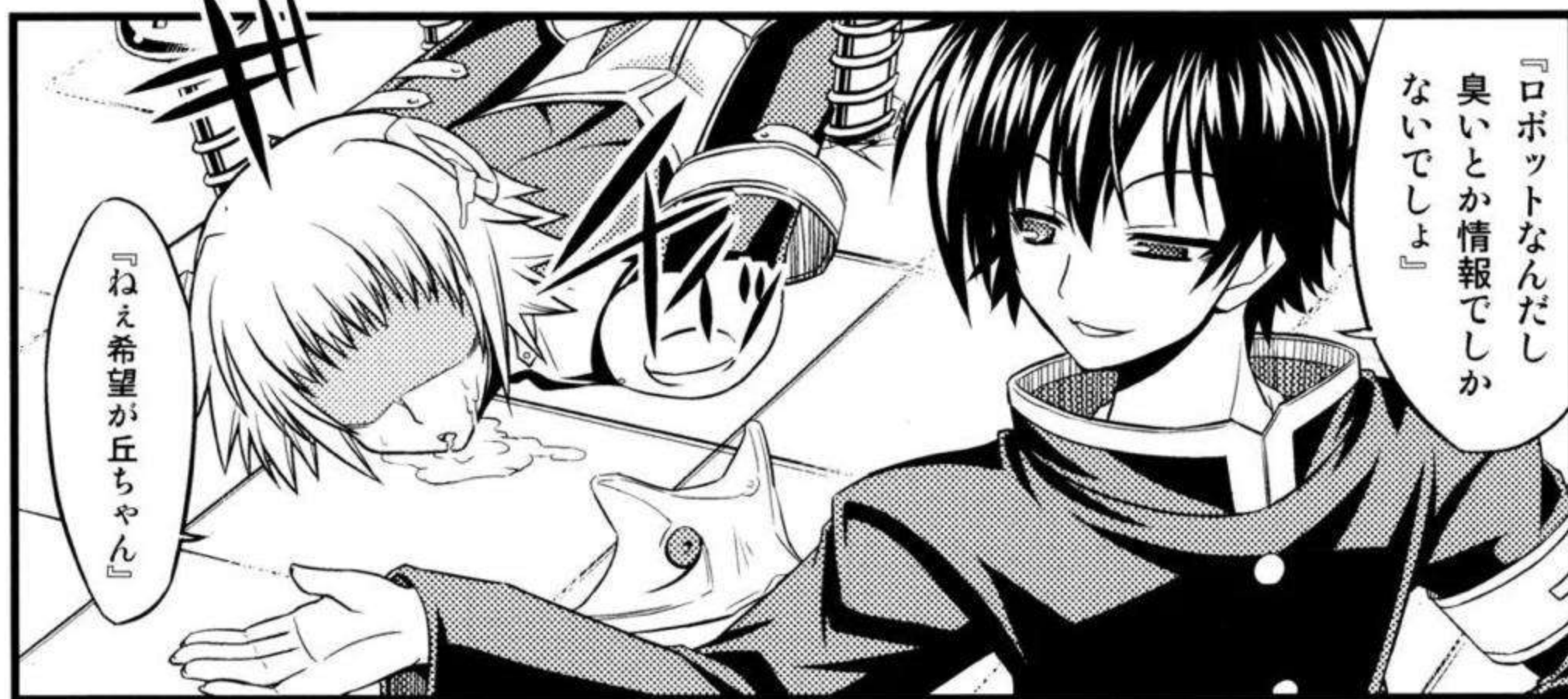


『おーい
与次郎ちゃんっ』



『あーあ
失禁しちゃた』

『財部ちゃんと
おそろいだ
私のはその...っお漏らし
じゃないですっ!!』



まさか希望が丘ちゃん
にまでっ…!!

ツッキ
喜々津ちゃんたち
みたいになっ!!

『おいおい何を言っ
てるんだい財部ちゃん』

『エロゲや同人誌じゃ
あるまいしロボットに性器
とかついてる訳無いだろ?』

『だからまあ
口にローション
流し込んで』

『オナホとして使っ
てみたんだけどね』

『あだから中から
漏電して落ち
ちゃったのかな』

『ロボットが飲食できる
ように創られてるわけ
ないし仕方ないか』

なっ…

『うーん』

『それじゃ喜々津ちゃん
でも起こしてもう一度
遊んでもらおうかな』

これ以上みんなを…っ!!

「うん…」



わ…私のことは好きに
してもいいですからっ!!

だからこれ以上みんなには
酷いことしないで下さいっ



くそっ何言わせんのよ
バカバカバカバカバカ

お…お願いします♥
いやらしい私のお♥んこ
を球磨川せんばいの
おちん♥んで

ぐっっちゃぐっっちゃ
よがり狂うまで
犯して下さい♥
我慢できません♥

恥かしい恥すか

「違うよ
財部ちゃん」

「…ううときはね」

なっ!?



「良く出来ました」

!





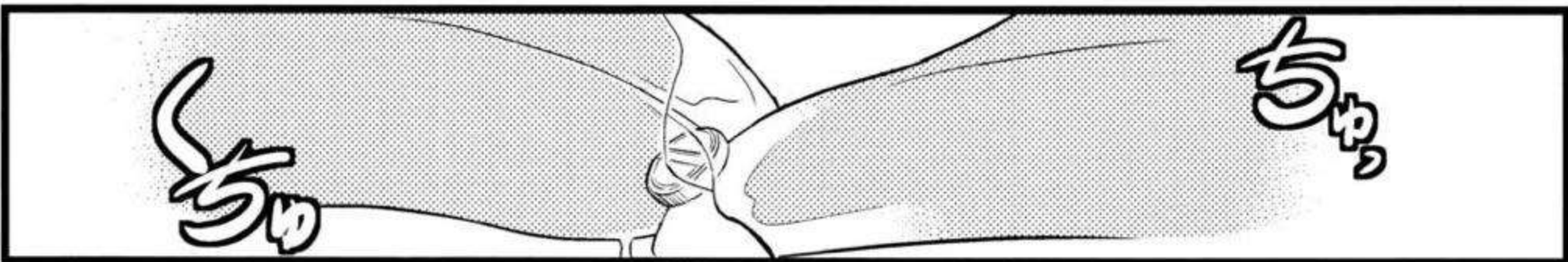
ん

んぐっ♡

っ!!



はっ



ちゅ

ちゅ



っ...



んっ

むぐっ



飲ませたんですか...

...っ 何を...

『何ってただの
自白剤みたいな
ものさ』

『こんなときに
本音と建前を線引きされ
ても萎えちゃうからね』

『そのうち
効いてくるよ』

『ほら散々罵ってきた
相手にこれから陵辱
されるのはどんな気分
だい財部ちゃん？』

……

その…

出来れば初めては
ベッドの上が…

『…ふうん
結構ロマンチスト
なんだね財部ちゃん』

『けどまあ
こんな部屋じゃ
仕方ないか』

『うんいいよ
そのかわり…』

ありがとうございます
球磨川せんばい

これで…
誰か目を覚ませば…

イブ

何でこんな格好
させられなきゃ
いけないんですか…っ

恥ずか
恥ずかしい恥
ずかしい恥ずか



『良く似合ってるぜ
財部ちゃん』

ひうつ♡



『ぐっじょぶ！』

『セリフ隠し切れてないぜ？』



んっ♡

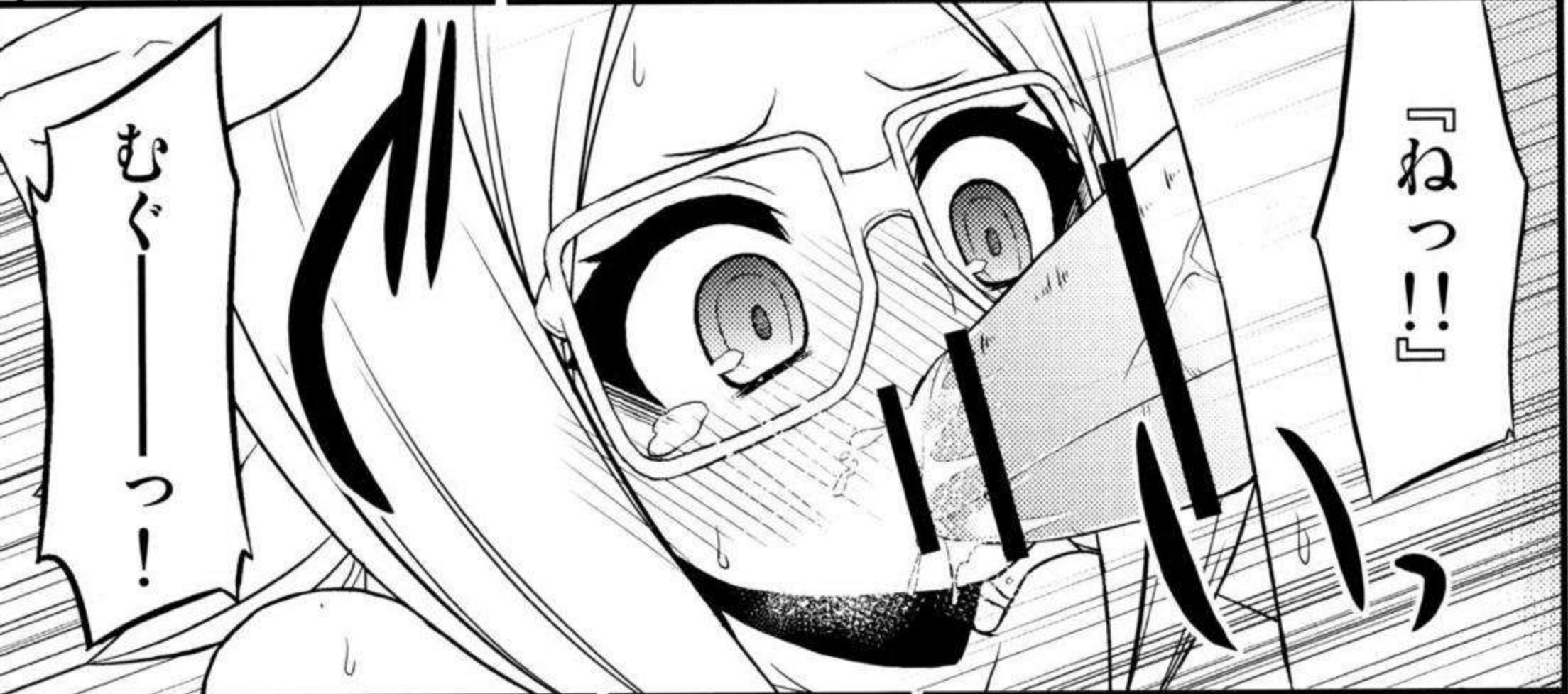
あぁ♡



『なんかもうすっかり
出来上がっちゃってる
みたいだね』

『もしかして期待しち
やってた？』

んあっ♡





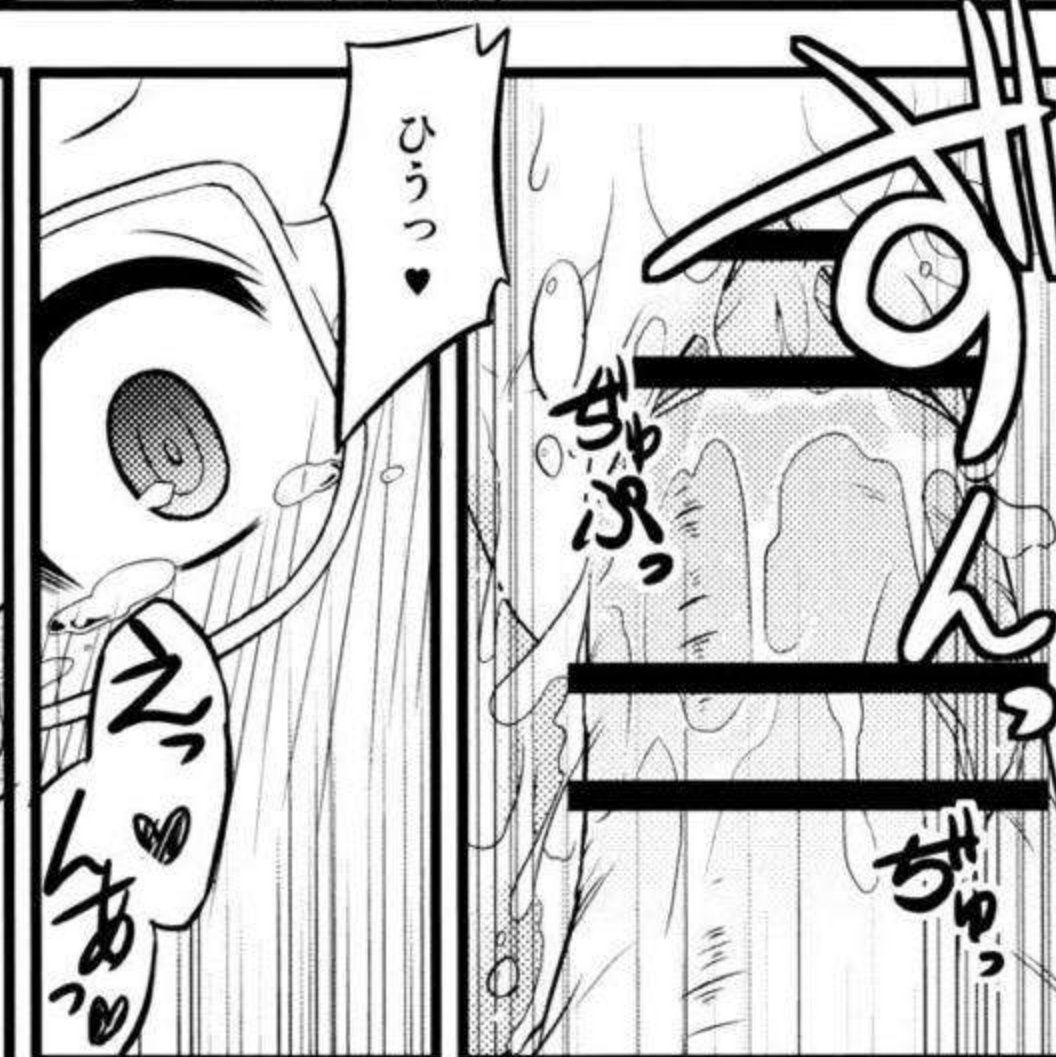
うん...
イっちゃったの...?

気持ちよかった...?
って違うっ
あんなのに犯されて
気持ちいいはず...?



球磨川せんぱいっ
私いったところで
まだ...?

『うん
知ってる』



びしょ♡

びしょ♡
びしょ♡

『けど…』

『僕はまだイってない』

ひっ

『ほらしっかりしてよ
財部ちゃん』

『ぐにぐに
締め付けてっ』

『さっきからイきっ
ばなしみただね』

『2』

『財部ちゃんっ
そろそろっ…っ』

——つイくよ財部ちゃんっ!!



「んっ」

「ふあっ」

『あれ？財部ちゃん
もうへばっちゃっ
たの？』

『まあ今回は
結構楽しんだからいいか
また遊んであげるぜ
財部ちゃん』

「たああ」

「-1≠5。」

(まいなす いち のっといこーる こ。)

発行 2011.12.31

製作 落下流睡(嶋堂)

Mail neguradou@gmail.com

印刷 株式会社 栄光 様

PIXIV id=215406

注意

■18才未満の方の閲覧、購入、所持の禁止。 ■無断転載の禁止。

■この度は、この本を手にとってくださりまして ありがとうございます。

■11巻を読んだときから描きたいなぁと思っていた
球磨川&見習い組たちをようやく描くことができました。
頭の螺子を2、3本取っ払った結果、色々と迷走した感は拭えませんが
少しでも楽しんでいただければうれしいです。
テーマは「目には目を歯には歯を」的な感じ。
なんとなく分かったら、にやりとしてやって下さいませ。

■めだかボックスはまだまだ描きたいキャラがあったりするのでこれからも
ちょいちょい本を作りたいなぁと思うところ。
アニメも始まるしジャンルとしてもうちょこっと盛り上がってくれて
いろいろな人のめだか本が見れるといいなぁ。 落下流睡でした。

画、たから
安心院さんが相手して
くれれば……

まにまに毎回
あの子たちの記憶を
消してき方の身にも
なってくれませ

安心院さんの協力で
お送り致しました。

文字通り
百年早いぜ。



こいっしこいっし
出番なし。



いつか
青いっし。

燦堂